



40戸も空き家のある“ゆり東”

ゆり北

第152号 (14期第10号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

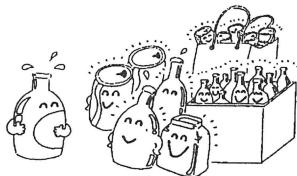
3-32-4-403

電話03(3938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

空き缶・空きびん分別回収の流れ

①ご家庭で、空き缶・空きびんを残り水などで洗って、回収日まで保管していただきます。



②地域にお住まいの方に、空き缶・空きびん、雑びんに分けて回収箱に出していただきます。



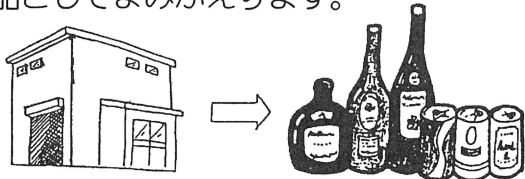
③トラックで回収箱ごと回収します。かわりに次回用のたたんだ回収箱をおいていきます。



④集めた資源は、板橋区資源化センターに運搬します。



⑤資源化センターに保管され、一定量になりますと、区は有効利用できるよう、売却等の手続きをとります。空き缶・空きびんは新しい製品としてよみがえります。



空き缶・空きびんなど

リサイクル事業を開始

3月12日(水)から

ゆりの木北自治会では、板橋区の要請に応じて、新たにリサイクル事業を開始することになりました。

現在、清掃事務所が行っている分別収集の不燃ごみについては資源の再利用率が低いこと、埋め立て用地の確保が困難になっていることなどから、再利用・再資源化が強く求められています。板橋区では数年前から段階的にリサイクル事業を実施してきましたが、中間施設の整備も進み区内全域で実施できるようになりました。

回収の対象となるのは、空き瓶（ビールやジュースの缶、茶筒・菓子箱などの金属製品、ビール瓶や一升瓶などの飲料の瓶、ジャムなどの空き瓶です。アルミ缶はゆりの木会が引き続き回収します。）

回収は月2回（第2・第4の水曜日）、団地内九か所の粗大ごみ置き場に置く、オリコン（青・黄・緑の三種類）に入れていただきます。
①中身を捨て、水でゆすいで下さい
②瓶の蓋は外して下さい
③コンテナには瓶・缶だけを入れて下さい

④ごみやタバコの吸い殻を入れないで下さい
「回収のお願い」は別に各戸に配付します。皆様のご協力をお願いします。

置き場を清潔に管理するため、リ

住宅公団を廃止？

私たちの住まいはどうなる

消費税の5%への引上げなど増税や料金値上げが目白押しの中、行政改革が強くいわれています。そして特殊法人の整理の目玉として住宅・都市整備公団の解体が急浮上してきました。一月の建設大臣発言（分譲住宅分野からの撤退、賃貸住宅分野も一部を残し撤退、再開発部門を地域振興公団と統合など）から、二月に入って自民党行革本部の「住宅・都市整備公団の廃止」に進んで来ています。

全国自治協では、二月七日（金）全国九十六団地の代表二百五十余名を集め緊急集会を開きました。民営化により家賃の値上げが必至となる。採算が優先され住環境を無視した管理が行われる。などの問題点が指摘

サイクル推進委員（ボランティア）を公募します。1か所二〜三名で、回収日の前後に整理、清掃をお願いします。参加いただける方は役員までお申出下さい。

されました。関西自治協の代表からは「公団住宅に耐震性が高かったこと。全国の修繕費をやり繰りして五百億円をかけて修繕が行われた実績など公団ならではの対応が可能だった。」との指摘がありました。

もちろん、現在の公団がたくさんの問題を抱えていることも指摘されています。家賃の六割が財政投融資資金からの借入に対する利払いであることや、建設省・大蔵省などの官僚組織の意向に従った運営や天下り、JSなどの系列子会社の問題などがあげられています。これらは速やかに改善されなければなりません。

公団の廃止が急浮上した裏には、公団の資産売却で国の赤字を一挙に減らそうという意図があり、そのツケを居住者に押しつけるものです。緊急集会では次の課題を掲げ取組を強めることとなりました。

団地代表者緊急集会の決議項目

- 1 住宅・都市整備公団の廃止による公団住宅の民営化に反対します。政府や国会が、入居者を無視して一方的に民営化などの検討をしないよう要求します。
- 2 住宅・都市整備公団と公団賃貸住宅についてつぎの改革をおこなうことを要求します。
- (1) 高家賃を引き下げて、入居者の居住の安定をはかり、公団住宅の未入居・空き家を早期に解消すること。

春を訪ねて ハイキング

梅の花もそろそろほころび始めました。木の芽もふくらんできています。身近かある自然を訪ねる「陽だまりハイキング」を今年も計画しました。ご家族で気楽に参加して下さい。

日時 三月九日(日) 集合は午前10時 羅斯ク広場(五号棟集会所前)

行き先 都立大泉中央公園 片道5km、歩程一時間半程度

持ち物 昼食、水筒

小学校三年生以上は子どもだけの参加も認めます。

- (2) 「建て替え」後家賃と着手団地の概算家賃を大幅に引き下げるとともに、従前居住者だれもが戻り入居できるよう現行「建て替え」事業を抜本的に見直すこと。
- (3) 入居者の負担能力の実態に合わない公団家賃制度と家賃値上げルールを見直し、安心して住み続けられる家賃制度をつくること。
- (4) 住宅事業を全面的に借入金（ほとんど財政投融資資金）に依存している公団賃貸住宅の財政構造をあらため、入居者の利子負担を軽減すること。
- (5) 住都公団への官僚天下り禁止、経営・管理の情報公開を促進するとともに、系列会社・関係法人の業務内容を総点検し利権・癒着の構造にメスを入れること。
- (6) 住宅および住環境管理の官僚的方式をあらため、居住者自治と当事者間の協議を尊重した、共同管理方式を推進すること。
- 3 国民だれもが人間らしい居住確保ができるよう、公共責任で保障する実効ある住宅政策を推進すること。

作文 夜回り

吉田 まい

私は、十二月二十三日から、十二月三十一日まで、夜回りをしました。私は、三年生の時から、毎年休まずに、夜回りをしています。夜回りでは、毎日、いろいろな人たちと団地内を回ります。

夜回りのおもな仕事は、ひょうしぎをならして、大きな声で、「ひのようじん。」ということや、ホームレスが団地内でねていたら、注意したり、いほう駐車があったら、「駐車禁止」と書いた紙を、駐車している車にはって、駐車いはんをしなくてほしいとよびかけます。私は、最近夜回りをやっていた、いほう駐車がとても増えたことに気がきました。だから、いほう駐車をしている人は、やめてほしいと思います。それは、もしいほう駐車をしている車の近くで火事がおきて、ひなんするとき、いほう駐車のせいで、にげおくれたりした人がいたら、たいへんなことになるからです。私たちは、夜回りが

終わると、テントにもどり、ジュースやコーヒーを飲みながら反省します。私は、最後に、夜回りのよびかけで、いほう駐車の手や、火事がへてくれるといいなと、思います。

投稿 ピンクチラシ止めて

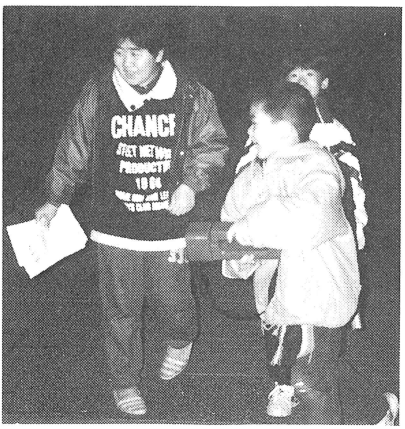
七号棟 佐藤 晶子

「ピンクチラシお断り」のステッカーが郵便受場所ごとに貼られたお蔭でしょうか、最近は投げ入れがずいぶん少なくなってきましたが、昨日（一月二十一日）も一枚入っていました。

高島平警察署に電話してみたところ、担当の方から「投げ入れている人をみかけたらすぐ一〇番か高島平警察署に電話してもらえれば近くの交番から無線連絡でパトロール中の警察官が行きます。」というお話がうかがう事が出来ました。

「チラシの程度等によって取締りの内容が違ってくるけれど。」ということでしたが、警察で何かしてもらえたいという事はありがたいと思います。（ただ実行現場でないと何も出来ないというのが、チラシに会社名や電話番号が書いてあるのにどうしてかとも思いますが）

これから先もまた投げ入れされる事もあるかもしれないので、見かけたらすぐ電話をするという事をもっと多くの人が知っていた方が、いいのではないかと思ひ筆をとりました。



受験生よ頑張れ

梅一輪、一輪ほどの暖かさ という句があるが、春まだ浅い昨今、残雪の中に凛として赤い花をつけている梅を見ると、ほっと心なごむ思いがする。「早春」と梅、われわれ日本人には希望と勇気を与えてくれる。梅を詠んだ句としては、京都から九州太宰府に左遷された菅原道真が『東風吹かば匂いおこせよ梅の花、あるじなしとて花な忘れそ』が有名だが、菅原道真は学問の神様、二月三月はまさに受験シーズン、受験生の諸君、ラストスパートだ。そしてあと二カ月、春爛漫、万葉（ばんだ）の桜の下で栄冠の喜びを分かちあおうではありませんか。

最後に贈ろう
梅、寒苦を経て清香を発す と。

（元受験生）

防鳥網ありがとう

団地におけるカラスの横暴ぶりは目に余るものがありました。特にゴミ置き場のあたりかたは、それはひどいものでした。まさに惨憺たる状況とはこのことでした。そこで昨年八月このゆり北新聞でもキャンペーンを張りましたが、公団では早速団地全域のゴミ置き場に防鳥網を設置してくれました。おかげでさしものカラス軍団も侵入することができず退散してしまいました。カラスばかりでなく外部からの不法投棄も少なくなつたように思われます。これからは、カラスや外部からの投げ込み責任を転嫁できなくなり団地住民のゴミ捨てマナーが問われることになりそうです。みなさん清潔な気持ちのよいゴミ置き場に努力しましょう。

防災マニュアル骨子でできる

ゆり北自治会環境防災部では阪神大震災の教訓を織り込んだゆり北防災活動マニュアルの作成をすすめて来ましたが、このほど素案がまとまりました。自治会役員会でさらに内容を検討して、各戸に配布する予定です。主な骨子は以下のとおりです。

- ①前提となる被害の想定、②防災関係者の集合、③災害対策本部の設置、災害活動の開始、対策本部の組織および役割分担、④防災設備設置箇所（配置図面）などから構成されています。

痴漢出没・注意

エレベーターや階段室での痴漢が発生しています。ねらわれているのは、小学生から高校生ぐらい。時間帯は、午後三時頃から六時頃の間が多い様です。予防策は顔見知りの人と一緒に乗る。一人で乗るときは非常ボタンの近くに乗り。なにかあったら非常ボタンを押し大声で助けを呼ぶなど。エレベーターには監視装置がついています。一〇台前後を順々にチェックしていますので、短時間の犯行だと写らないこともあります。非常ボタンを押すことで、係員がインターホンで応答し、監視カメラも固定されます。

未遂に終わった場合でも一〇番通報か役員への連絡をお願いいたします。再犯を防止するために是非必要です。プライバシーは守ります。



投稿のお願い

「ゆり北」はこのまちの「しんぶん」です。ホットで、明るいニュース、みんなに紹介したい施設やイベント、旅行案内（ハイキング、ドライブコースを含む）など、なんでも歓迎です。写真やイラストを添えていただくとなお結構です。文章が二ガ手な方は、メモでもかまいません。広報部の担当役員までご連絡下さい。

ゆり北から望む西の夕暮れ

